

事業番号

2023 - 官房 - 22 - 0018

令和5年度行政事業レビューシート

(内閣官房)

事業名	地方創生の観点からの少子化対策・女性活躍推進事業			担当部局庁	内閣官房副長官補	作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	デジタル田園都市国家構想実現会議事務局	参事官 石川悟	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	まち・ひと・しごと創生法 第3条 第3項(平成26年法律第136号)			関係する計画、通知等	デジタル田園都市国家構想総合戦略 デジタル田園都市国家構想基本方針		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	地方創生の観点からの少子化対策・女性活躍の推進に向けて、デジタル等を活用した地方公共団体の各取組の手法や効果等の検証を行い、改善につなげることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	人口減少・少子化は深刻さを増しており、「東京圏への女性の転入超過数が男性を上回る傾向が続く」中で「女性に選ばれる地域づくり」を推進することとしており、さらに、デジタル技術の活用による取組を通じて「結婚・出産・子育てがしやすくなる地域づくりを進めていく」とともに、「地域コミュニティ機能の維持・強化」を図ることとしている。						
事業概要 (5行程度以内)	地方創生の観点からの少子化対策・女性活躍についてデジタル技術の活用促進につながる事業を実施する。「少子化対策地域評価ツール」を活用した「地域アプローチ」による少子化対策の普及を引き続き固りつつ、地域の少子化対策に関するデジタル技術の導入に向けたプロセスのモデル化や、地方公共団体間の交流機会の活用等を通じて、デジタル技術の活用による地域の少子化対策に関する分野横断的な取組の知見の展開を行う。また、子育て世代や女性など、若い世代も含めた多世代において、誰もが居場所と役割を持つコミュニティや、活気あふれる温もりのある地域をつくる「生涯活躍のまち」について、デジタル技術の活用による地域課題の解決に関するプロセスのモデル化、官民のマッチング機会や地方公共団体間の交流機会の活用等を通じて、デジタル技術を活用したまちづくりに関する知見の展開を行う。						
事業概要URL	https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chiikiapproach/index.html https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/index.html						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の状況	当初予算(A)	-	32	32	28	28
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
	予備費等(E)	-	-	-	-	-	
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	32	32	28	28		
執行額(G)	-	24	34				
執行率(%) =(G)/(F)	-	75%	106%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	75%	106%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	内閣官房共通費			重要政策推進枠:8百万円		
	(目)	諸謝金	28	28			
		その他					
	計(A)		28	28			

活動内容① (アクティビティ)		地方創生の観点からの少子化対策・女性活躍を推進するため、「地域アプローチ」による少子化対策や「生涯活躍のまち」に関して、デジタル技術の導入・活用に関するプロセスのモデル化や、地方公共団体間の交流機会の活用等を通じた知見の展開等の取組を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		調査研究事業にて以下の取組を実施 ①少子化対策、生涯活躍のまちについて地方公共団体のモデル構築 ②調査対象地方公共団体の団体程度を限定した意見交換会の実施 ③「生涯活躍のまち」施策について官民対象としたマッチングイベントの実施	調査の実施件数	活動実績	件	-	2	2	-	-	
				当初見込み	件	-	2	2	2	1	
↓											
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		「地域アプローチ」による少子化対策、「生涯活躍のまち」において、デジタル技術の活用促進を取り入れたモデルを構築し全国の地方公共団体に向けた情報発信を行うため。また、全国の地方公共団体が取組を進める中で生じる課題・疑義の解消や知見収集の機会を設けるために意見交換会、官民連携のマッチングイベントを行うことにより地方創生の観点からの少子化対策・女性活躍の推進を全国の地方公共団体に普及していくため。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		各施策へのデジタル技術の導入・活用に関する取組モデルを策定するとともに、地方公共団体に知見の展開を図る。	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		少子化対策、生涯活躍のまち施策においてデジタルを活用した取組モデルの構築は令和5年度に初めて実施しているため、根拠となる成果実績はないが、過去の調査研究事業から以下のような状況にある。 ・少子化対策においては令和5年3月に有識者により「地域におけるデジタル技術を活用した少子化対策の推進に向けた提言」がありデジタル技術の導入・活用に関する取組モデルを策定することの必要性について提言が行われている。https://www.chisou.go.jp/sousei/about/syoushikakoujirei/pdf/r4syoushikateigengaiyou.pdf ・生涯活躍のまちでは、令和4年度に全国の地方公共団体に対して取組意向等に係る調査を実施し、「デジタル技術を活用して全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」を進める上で課題となっている事項」を聞いたところ、回答の上位には、「デジタル技術を活用した「生涯活躍のまち」の具体的な方向性の見定めが難しい」、「具体的な事業の企画立案が難しい」等が挙げられている。このため、デジタル技術を活用した生涯活躍のまちの取組プロセスについて知見の展開を図るニーズがある。https://www.chisou.go.jp/sousei/about/ccrc/ikou/index.html#ikou_chousa									
アウトカム設定について の説明		<p style="text-align: center;">アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由</p> <p>本事業は「調査研究事業」として実施するものであり、主たる目的は地方公共団体の取組の実地検証を通じた取組モデルの策定等であるため、定量的なアウトカムを設定することは困難。一方、「地方公共団体の交流機会の活用」については、意見交換会の開催等を通じた全国の地方公共団体への知見の展開を図るものであり、前述の成果目標以外にも一定の効果が期待できると考えている。</p> <p style="text-align: center;">アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由</p> <p>活動目標における3つの取組を一体的に実施することにより成果目標を達成することを目的とした調査研究事業であるため。</p>									
事業に関連する KPIが定められ ている関連決定 等		名称	-								
		URL	-								
		該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		一般競争入札を実施したことにより、競争性の確保やコストの低減に努めている。また、成果品はHPでの公表等を通じて、他の地方公共団体にも共有を図るとともに、実績を概算要求に反映している。					目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)				
							定量的なアウトカム設定が困難であり、目標年度設定ができないため未記入				
改善の 方向性		事業の実施に当たっては、より効率的な執行に取り組んでいく。									

内閣官房 34百万円

諸謝金【一般競争契約(総合評価)】

諸謝金【一般競争契約(総合評価)】

A 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

B Pwcコンサルティング合同会社

・少子化対策地域評価ツールの活用促進に向けた自治体の交流機会の拡充や環境整備に係るモデル事業

・多世代コミュニティの形成に係るモデルの普及及び自治体への支援体制の拡充に係るモデル事業

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
諸謝金		少子化対策地域評価ツールの活用促進に向けた自治体の交流機会の拡充や環境整備に係るモデル事業	18	諸謝金	多世代コミュニティの形成に係るモデルの普及及び自治体への支援体制の拡充に係るモデル事業	16	
計			18	計		16	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	1010001143390	少子化対策地域評価ツールの活用促進に向けた自治体の交流機会の拡充や環境整備に係るモデル事業	18	一般競争契約 (総合評価)	3	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	PwCコンサルティング合同会社	1010401023102	多世代コミュニティの形成に係るモデルの普及及び自治体への支援体制の拡充に係るモデル事業	16	一般競争契約 (総合評価)	1	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	